

1	科目名（教科）	公民	6	教科書名	
2	講座名	政治・経済		政治・経済（実教出版）	
3	開講学年	2	7	使用教材	
4	履修区分	フィールド選択		なし	
5	単位数	3			

1 科目の目標・学習内容

--

2 評価の観点・方法

評価の観点		観点の趣旨	具体的な評価方法
【知】	知識・技能	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけている。	諸資料を用いて、現代の政治、経済、国際関係に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。
【思】	思考・判断・表現	現代の政治、経済、国際関係に関する事柄から課題を見だし、その解決について、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえながら公正に判断し、的確に表現することができる。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事象を概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、いろいろな課題を把握し、解決を視野に入れて構想する力や、効果的に説明する力を養う。
【態】	主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を粘り強く身に付けようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸事象について、より良い世界の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

3 学習計画

月	単元名	学習内容	時間	到達目標	観点別	評価方法
4	第1編 現代の政治 1章 現代国家と民主政治	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原則 ・民主政治のしくみと課題 ・世界のおもな政治制度	6	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価
5	2章 日本国憲法と基本的人権	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本原則 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権	6	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価
6	3章 日本の政治制度と政治参加	・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民自治 ・政党政治 ・選挙制度等	8	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価
7	4章 現代の国際政治	・国際社会と国際法 ・国際社会の変化 ・国際連合と国際協力	6	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価

8	4章 現代の国際政治	・第2次世界大戦後の国際政治 ・冷戦終結後の国際政治 ・軍拡競争から軍縮へ	4	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価
9	5章 日本の平和主義と国際平和	・平和主義と自衛隊 ・日米安全保障体制の変化 ・21世紀の平和主義 ・日本の外交と国際社会での役割	7	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	考査・授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価
10	第2編 現代の経済 1章現代の経済社会	・経済社会の変容 ・経済主体と市場の動き ・企業の役割 ・国民所得 ・経済成長と国民の福祉	7	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価
11	第2編 現代の経済 1章現代の経済社会	・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本財政の課題等	7	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価
12	2章 現代の日本経済と福祉の向上	・戦後復興から高度経済成長へ ・安定成長からバブル経済へ ・日本経済の課題 ・中小企業と農業 ・消費者問題	6	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価
1	2章 現代の日本経済と福祉の向上	・公害防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・こんにちの労働問題 ・社会保障の役割	4	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価
2	3章 現代の国際経済	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第2次世界大戦後の国際経済 ・国際経済の動向 ・発展途上国の諸問題 ・社会保障の役割等	6	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	考査・授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価
3	第3編 現代社会の諸課題	・人口・食料問題 ・地球環境問題 ・人種・民族問題等	3	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 諸資料・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	授業・プリント・レポート等における観点ごとの評価

4

単元テスト

各単元終了時（複数の単元をまとめることもあります）に単元テストを行います。

--

5 その他

--